



あしべつ

市議会だより

2019年
5月1日
No.11

芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/shisei/gikai/>



任期最後の定例市議会に臨む



退任のご挨拶

芦別市議会議長

日沼 昇光

私儀、平成31年4月30日の任期満了をもって芦別市議会議員を退任いたしました。思えば、昭和50年4月の芦別市議会議員当選以来、10期40年の長きにわたり、議員活動を支えていただいた市民の皆様から深く感謝申し上げます。

振り返りますと、40年にわたる議員活動の中で、特に印象に残っておりますことは、本市の主要産業であった石炭産業が衰退し、それに代わる雇用創出と地域活性化の切り札として命運を賭けた(株)星の降る里芦別(カナダイアンワールド)事業が失敗に終わったことでありまして、当時私は、議会内に設置された(株)星の降る里芦別対策特別委員会の委員長に任にあつて、債権問題解決のため中央陳情等に奔走した記憶が蘇ってまいります。

そして最も印象深くに残っていることは、平成が始まる年に初めて議長に就任し、凶らずもまた平成が終わる年に、再び議長として在任したことでありまして、一つの時代の終わりとともに私は退任いたしますが、新しい元号になって、次の時代を担うべく市議会議員になられた方々におかれては、今後本市発展のため、ご尽力いただくことを切に願うものであります。

最後になりましたが、在任中は、ひとかたならぬお力添えを賜り誠にありがとうございました。市民の皆様方の温かいご支援と多大なるご協力に対し、今一度、感謝を申し上げ、退任にあたってのお礼のご挨拶とさせていただきます。

目 次

- ◎勇退議員のご挨拶……………2～3
- ◎3月定例会代表質問・一般質問……………3～6
- ◎3月定例会の議決結果……………7
- ◎議会改革の成果と反省……………8

市議会議員退任のご挨拶

芦別市議会議員のうち、日沼昇光氏、吉田博子氏、池田勝利氏の3人が、平成31年4月30日をもって勇退しました。退任にあたっての3氏の挨拶文を掲載します（日沼氏の挨拶文は1ページに掲載しています）。

4期16年 池田 勝利氏



芦別市議会議員を
退任するにあたり、
市民の皆様にご
お礼と感謝を申し
上げます。

この「市議会だより」が皆様のお手元に届くころには、新しい元号に代わっていることと思います。

平成の年号に別れを告げる、その時期に合わせて、議員を退任できることは、新しい時代に合った若い議員が誕生して、本市の新しい活力あふれる幕開けを象徴していると思っております。

いりました。

このことは、皆様の心温まるご支援・ご協力、そして、ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

これからも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本来ならば、皆様お一人おひとりに直接ご挨拶申し上げるところでございますが、まずは本書面にてお許しくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、お礼かたがた退任のご挨拶とさせていただきます。

す。
平成15年、私がちょうど60歳の還暦を迎え、それも私の誕生日が投票日でした。その選挙で初当選をさせていただき、以来4期16年間、市議会議員として、微力ながら働かせていただきました。

60歳で議員となり、古希の70歳で議長としての重責を担わせていただき、75歳の後期高齢者となったところで退任させていただくことになり、任期中、市民の皆様には言い尽くせぬほどお世話になりました。

この16年間、議員在職中は、株式会社星の降る里・カナディアンワールドの債務問題、そして芦別振興公社の債権処理と、地域活性化を目指した政策の後始末に、歴代市長と共に考え、悩み、打開策を探ってきました。

残念ながら思う通りの結果とはなりませんでしたが、それだけに在任中は、常に財政の厳しい状況が続ぎ、自分の思っていた政策の実現はなかなかできませんでした。

しかしながら、それはそれでやり甲斐がありました。議員を退任するにあたり、私は一片の悔いもありません。

市民の皆様にご協力を賜りいただき、精いっぱい持てる力を出し切った16年だったと思っています。この先は一市民として市勢の進展に微力を尽くしたいと思っています。

今はただただ、市民の皆様にご感謝、感謝であります。ありがとうございます。

5期20年 吉田 博子氏



私、吉田博子は、平成31年4月30日をもって芦別市議会議員を任期満了となり退任いたしました。

就任以来、5期20年間の永きにわたり、市民の皆様から、ご意見・ご要望、そして多くのご相談等をいただき、仕事をさせていただいてま

3月定例会代表質問

市政執行方針及び 教育行政執行方針について

3月定例会市議会では、市政執行方針と教育行政執行方針について、4会派が代表質問を行い、2名が一般質問を行いました。それぞれ要旨を掲載しています。なお、会議録は図書館、市内各コミュニティセンターで閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

創政会



田森 良隆 議員

質問

子どもたちのスキー学習については、他の市町との教育長会議の中でしっかりと議論をすべき。また、業者へのPRについては夏、冬に人がたくさん参加できるイベント等も検討するべきと思うが、考えを伺う。

答弁

民間から相談されれば、できる限り応援はします。

要望

やめるための予算ではなく、残すための運営の仕方等を協議し、最小限の予算でできる議論をこれから続けてもらいたい。

質問

芦別高校の学生確保と保護者の負担軽減策として、通学費や検定試験等受験料の助成事業を実施してきた。しかし、この3年間、一昨年の受験者数は102名、昨年は85名、今年は62名と減り続け、間口減の危機となっている。この現状について伺う。

答弁

芦別市と赤平市の中学校の卒業生は、平成28年度は186名から平成30年度には152名

質問

芦別高校の伝統である「文武両道」が崩れたことと、中学校と高校の教員との交流が無

減ることに加え、市内からの芦別高校への進学率は平成28年度72%、平成29年度65%、平成30年度は54%と減少傾向であることも要因となっている。

新星クラブ



石川 洋一 議員

質問

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の人口ビジョンを達成するための施策と効果について伺う。

答弁

人口ビジョンの達成に向けて、国が示す政策分野ごとに目標を定め各種施策を実施。また、企業に対する奨励金や補助金の交付、新たな企業の進出や従業員住宅が建設されるなど、雇用の創出につながって

答弁

新たな手立てを講じるため、将来の教育のあり方について審議する機関である「芦別高校問題協議会」において意見交換を進めていきたいと考えています。

要望

最終的には2校の中学校の統合問題について、スピード感をもって議論を進めていただきたい。

質問

2040年の本市の人口をどのように捉えているか

答弁

策定段階では平成22年の国勢調査に基づき目標を定めていましたが、平成27年に公表された社人研の推計では6559人と人口減少がさらに見込まれ、非常に厳しい状況であり、さらなる施策が必要であると認識しています。

質問

「合宿の里事業」がもたらす効果・実績・推移、誘致の方法や成果について、また中長期

3月定例会代表質問

質問

今年に入り栗山スキー場が設備の老朽化で、2月には、かもし岳スキー場及び温泉が管理運営の問題でも閉鎖している中で、本市の国設スキー場も来年で休止の予定だ。市として継続のため最大限努力するべきと思うが、考えを伺う。

答弁

平成31年度予算では、総経費1838万円に対し、収入は326万円となり、1512万円のマイナスとなる見込みです。国内外問わずスキー場に関心を持つ業者に対する紹介やPR、セールス活動に取り組んでいきます。

的な計画や目標について伺う。

答弁

今年度末の見込みの団体数は99団体、延べ宿泊者数は9282人となっています。誘致の方法については本市、北海道、国土交通省ホームページに発信しているほか、合宿実施団体へのダイレクトメールや人脈を通じた誘致活動を行ってきました。中期的な計画と目標については持ち合わせておりませんが、「芦別市合宿の里推進協議会」に対して毎年度の実績値を示し新規合宿団体の誘致を進めるなど、認知度の向上を図っていきたいと思います。

質問

市民に対する火気取り扱いは対する防火意識の向上と住宅用火災警報器の普及状況及び方法について伺う。

答弁

街頭広報や車両啓蒙の実施、消防団員による一般住宅査察、女性消防団による単身高齢者住宅予防査察を行い防火意識の向上を図っています。また、町内会や各種団体に防火研修会や講習会を開催し、火災概要・出火原因・予防対策について講話などを実施しています。

住宅用火災警報器の普及状況や方法については、町内会や各種団体を対象とした防火研修・講習を実施し、一般住宅査察においては警報器の設置を促してあり、今後も設置率の向上や広報活動により普及強化に取り組んでいき

ます。

質問

星をテーマとするイベントについて伺う。

答弁

本市は昭和59年12月1日昭和62年1月に開催された全国星空の街・あおぞらの街「コンニャク」に応募し、当時の環境庁から「星空の街」の認定を受けています。今年度の取り組みとして、観光協会が主体となって星空案内資格認定講座の実施が計画されています。

質問

一般国道452号の将来にわたっての展望、中央要

市民連合議員団



小川 政憲 議員

質問

望の状況、見直しについて伺う。

答弁

平成30年度は、盤の沢道路は工事延長約90mにおいて抑止杭41本、五稜道路は工事延長約600mの道路改良工事を行っているところであり、平成31年度も道路改良工事等を進める予定です。中央要望の状況につきましては、建設促進期成会、本市単独で各官庁に対して要望書に加え、PR動画を制作して開通後の経済効果や必要性について十分理解をいただけたと考えています。さらに財源確保に向け強く訴えていきます。

質問

人材不足が深刻化してきている状況下でUターンを促す一つの手法となりえると思うが、

答弁

現在の財政状況を考慮したときに、新たな制度を設けることは現時点では難しいと判断せざるを得ません。現在の就職奨励金制度を活用しながら、更には、合同企業説明会、企業見学会等の活動を継続し地元の人材確保に努めていきます。

質問

合宿事業に関わり不足する宿泊施設の建設計画が示されたが、その基本構想及び今後のスケジュールについて伺う。

答弁

現有宿泊交流センターの敷地内に建つ事務棟を除却し、その跡地に鉄筋コンクリート造2階建て約600平方mで、収容人員60〜75人収容規模の宿泊施設を建設する計画としています。設備は、冷暖房、厨房、食堂、シャワー室、トイレなどを計画しています。今後のスケジュールは、5月下旬には基本設計を発注し、7月末には設計を終え8月には地質調査委託を発注すると同時に実施設計に着手。年内には概算事業費等の提示を受けた後、翌年2月末には業務完了を予定、施設建設は平成32年度内の完成を予定しています。

質問

市税等による市民負担を求めず、職員給与削減策だけを行わせることに対する疑義と、市内経済全体に及ぼす影響について伺う。

答弁

人口減少と地域経済の縮小など本市を取り巻く厳しい社会経済環境や消費税増税を考慮すると、市税の税率引き上げや使用料・手数料の値上げなどの市民負担を求めることは現状難しいと判断しています。職員給与削減により、市内経済に及ぼす影響は否めませんが財政状況が厳しさを増す中、持続可能な市政と街づくりの進展を図るためには、財政健全化の取り組みを早急に進める必要があることから、苦渋の決断に至りました。

政風会



北村 真 議員

我々、政風会は「人と経済」をテーマにこの4年間、さまざまな提案をしてまいりました。「人と経済」をテーマとした理由といたしましては、地方創生が叫ばれる中で、地域を元気づけるためには、生き生きと活動する人々がいなくてはなりませんし、そのような市民が暮らしていくためにも健全に成長する経済が必要であると考えているからであります。そして、この「人と経済」は切っても切り離すことができな、互いに絡み合ったものであると考えるからであります。前向きな議論の先により良い結論が待っていると信じ、今議会においても侃々諤々、議論を進めていきたいと考えております。

質問

今回も「人と経済」という視点を持ちつつ代表質問を行いました。行財政改革のメニューでもあるNPO法人の活用について、本市でNPO法人を立ち上げ

やすくするため、市民に対する意識醸成を行ったり、北海道から法人設立に係る権限移譲を受けるなどの下地づくりを進めることについて伺う。

答弁

市民の中から自発的に法人設立の機運が高まるよう、NPO法人に係る基本情報や市の関わり、行政サービスの運営イメージなどについて情報提供に一層努めていきたいと考えています。また、今後に向けては行政サービスを担うNPO法人の設立を促進するためにも、北海道からNPO法人設立認証等に関する権限移譲を受けることにつきまして、検討していきます。

質問

業務の効率化のためのRPAの活用に関する考え方について伺う。

答弁

RPAを導入することにより、単純で定型的な作業や量が多いため、多くの時間を費やしている業務などが、作業時間の短縮やミスの少ない正確な処理につながり、さらには人件費の削減といった効果が……

RPAとは、これまで人間が行ってきた事務作業の一部を、ロボットを使って自動化する仕組み。表計算ソフトへのデータ入力や蓄積されたデータの整理など、新たな判断を伴わない単純な事務作業を行うもので、人間の代わりにロボットが判断して作業を行うAI（人工知能）とは異なる。

期待できると認識しています。事例としては、税や住民異動に係る申告処理、職員給与の管理事務などがありま

すが、現状では全国的に見ても非常に先進的な取り組みで導入実績も少ないことから、今後の研究課題としていきたいと考えています。

質問

デジタルガバメントに対する本市の取り組みとして行政サービスの電子化に対する考え方について伺う。

答弁

市民の皆様がインターネットを経由して、さまざまな手続きを行えるようにすることは、市民サービスの向上につながるものと認識しており、改革プランの実施項目として掲げている平成32年度からの「電子申告・電子申請」の実施に向けて準備を進めているところで

なお、その他の行政サービスの電子化につきましては、さまざまな検証が必要なことから、引き続き調査検討を

進めていきます。

質問

経営者的な視点と社会貢献に対する高い意識を持つ社会起業家を育てる起業家教育に対する考え方について伺う。

答弁

経営者的な視点と社会貢献に対する高い意識を持つことは豊かな人間性の醸成にもつながるものと考えられ、さらに起業家に必要とされるチャレンジ精神や判断力、実行力、コミュニケーション能力などの育成を図ることは「生きる力」を育み、子供たちの未来の選択肢に大きな広がりを持たせることができるものと考えています。このようことから、実質的な起業家教育の導入には至らないまでも、各教科を横断的に、また、学校生活全般を通じて、起業家教育の考え方を取り入れたさまざまな活動が展開できるよう、教職員の共通理解と共通認識を図っていきたいと考えています。

3月定例会一般質問



日本共産党 松井 邦男 議員

芦別市における自衛隊員募集活動について

質問

安倍首相は、「自衛隊員募集については協力しない自治体が多い。憲法を改正し、自衛隊を明記すべき」と発言し、問題になっ

ているが、毎年滝川自衛隊が来て市内の15歳から27歳の住民の名簿の書き写しを行っている。これについて伺う。

答弁 書き写しは、平成28年は398名、29年は474名、30年は497名でした。書き写しに市として便宜を図ることはしていません。

消費増税による市財政への影響について

質問 消費増税申告義務のない中小事業者へのインボイス制度導入が検討されているが、不申告事業者を市登録業者から排除することがないか伺う。

答弁 一般会計当初予算の歳出では、5700万円程度を見込んでいます。各種手数料について税率引き上げ後、インボイス導入で免税業者を排除する考えはありません。

幼児教育・保育無償化について

質問 10月予定の「幼児教育・保育無償化」は、給食費は対象外として保護者負担を求めるとしているが、市保育園とみどり幼稚園での対応について伺う。

答弁 それぞれの保育料に給食費が含まれているが、切り離して徴収するとなれば、保育料無料

の世帯から新たに徴収することは非常に難しい。みどり幼稚園では取り扱いを検討中であり、調整が必要です。無償化実施の際に取り扱い方針を示す考えです。

観光振興について

質問 国設芦別スキー場の存続とカナディアンワールド公園内にある「赤毛のアンの家」を芦別観光の目玉とする考えについて伺う。

答弁 スキー場の運営については平成31年度の収支は1500万円程度の赤字が見込まれ、当面大きな整備は不要だが、圧雪車の整備などで経営の継続は困難。運営形態を変えての継続を模索します。「赤毛のア



党 明 吉田 博子 議員

ふるさと納税について

質問 ふるさと納税の返礼品として、郵便局の「見守りサービス」を追加することについて、昨年

12月議会で提案したが、答弁では早期

ンの家」の移設場所や管理運営で解決すべき課題が多い。カナディアンワールド公園全体のいろいろな活用を模索しています。

市の奨学金について

質問 市の奨学金の貸与を受け、市内の福祉や介護の資格を有する方が市内の事業所に就職した場合、奨学金返済金の減額について考えを伺う。

答弁 市内の福祉・介護事業所では、有資格者確保のため、介護職員の人材育成のため支援を行っており、市として新たな支援措置を講じる考えはありません。

に取り入れるとの事だが、その後の進捗状況を伺う。

答弁

「見守りサービス」として、月に一度、郵便局職員が納税者の指定をし、市内在住者の自宅を訪問し、会話を通じて生活状況や体調等を把握し、納税者へ報告するもので、本市では、3カ月・6カ月・12カ月の3コースを返礼品とし、それぞれ、寄付額を3万円・6万円・12万円に設定し4月から実施します。空知管内初の実施となります。

防災対策について

質問 地区防災計画の認識及び地域への周知方法について伺う。

答弁

大規模災害や広域災害では、行政からの公助が届かないことが考えられますが、その場合、地域コミュニティなどによる助け合い、いわゆる「共助」が必要不可欠で、そのための共通ルールである地区防災計画を策定する必要性については認識しておりますので、今後は、その周知を図っていききたいと考えています。

観光物産センターの整備について

質問

観光物産センターのエレベーター設置や厨房の空気環境整備について、これまで長年にわたり訴えてきたが、このたび観光協会が担う観光物産センターにおいて環境整備することで収益に繋がるものと考えられるが、観光物産センターへの整備について伺う。

答弁

施設整備の維持や安全確保のための修繕は必要に応じて対応していくが、エレベーターの設置や厨房の空気環境の整備については、その必要性は認識しているものの、他に財源が見込めない状況の中では、実施は難しいと考えます。

3月定例会の議決結果

平成31年第2回市議会（定例会）では、平成31年度各会計予算、平成30年度各会計補正予算、条例制定・改正・廃止、芦別振興公社の貸付金に係る権利の放棄、公の施設の指定管理者の指定の一部変更などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

■全員賛成の議案

議案	件名	結果	議案	件名	結果
平成30年度補正予算	一般会計（第8号）	原案可決	条例改正	手数料条例	原案可決
	奨学資金特別会計（第1号）	原案可決		基金条例	原案可決
	国民健康保険特別会計（第4号）	原案可決		高齢者保健福祉計画等推進協議会条例等	原案可決
	下水道事業特別会計（第1号）	原案可決		職員給与条例及び市特別職の職員の給与に関する条例	原案可決
	介護保険事業特別会計（第2号）	原案可決		市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例	原案可決
	介護サービス事業特別会計（第1号）	原案可決		議会基本条例	原案可決
	後期高齢者医療特別会計（第3号）	原案可決		条例廃止	議会政務活動費の交付に関する条例
	市立芦別病院事業会計（第2号）	原案可決	人事案件	教育委員会教育長の任命	同意
	水道事業会計（第2号）	原案可決		公平委員会委員の選任	同意
平成31年度予算	奨学資金特別会計	原案可決	その他	芦別振興公社の貸付金に係る権利の放棄及び和解	原案可決
	下水道事業特別会計	原案可決		公の施設の指定管理者の指定の一部変更（健民センター）	原案可決
	介護保険事業特別会計	原案可決	報告案件	監査結果	報告済
	介護サービス事業特別会計	原案可決		総務常任委員会調査結果	報告済
	市立芦別病院事業会計	原案可決		社会産業常任委員会調査結果	報告済
	水道事業会計	原案可決		議会運営委員会調査結果	報告済
平成31年度補正予算	一般会計（第1号）	原案可決	意見書	食品ロス削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書	原案可決
条例制定	市特別職の職員の給与に関する条例の特例条例	原案可決			
	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例条例	原案可決			

■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

議案	件名	結果	大橋 二朗	瀧 仁美	石川 洋一	大鎌 光純	北村 真	樋坂 直紀	松井 邦男	吉田 博子	小川 政憲	池田 勝利	田森 良隆	日沼 昇光
平成30年度補正予算	一般会計（第9号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
平成31年度予算	一般会計	原案可決	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	国民健康保険特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	後期高齢者医療特別会計	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
条例改正	国民健康保険条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
意見書	妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	議

議会改革の成果と反省

編集後記

議会改革は、「議会基本条例」の制定により、本格的に進められることとなりました。条例前文に掲げた、「これまで「気が付いたことから」「できることから」を合言葉に一歩ずつ改革を進めてきたが、更に、時代の変化に沿った積極的改革の意思を持ち、市民への情報の公開と共有、市民参加を進め、自由闊達な論議を通して「わかりやすく、市民に開かれた議会」の実現を図ります。」と決意し、その実践を進めてきました。

一にて)

③議会報告会の開催（フレ開催を含め3回）

④議会広報紙「議会だより」の再発行（平成28年12月から任期中第11号まで）

⑤自主的勉強会の開催 4回開催（内部講師2回、外部講師2回）

⑥委員会条例・規則の全部改正

⑦芦高生（1年生）と市議会議員とのふるさと懇談会の開催（本会議場にて）

①議会開催日程（代表質問・一般質問）の全戸配布（議員会予算）
②本会議のモニター中継（議会棟ロビ

以上のとおり、市民の声に耳を傾け、自らを高めつつ、一定程度議会・議員の存在感を示すことができたものと考

えています。

しかし、「わかりやすく、市民に開かれた議会」の実現のためには、まだまだという段階であると理解しています。更なる改革の取り組みとして、継続的に市民の意見を聴く「議会モニター制度」や専門的知見を得るための「議会サポーター制度」の導入、「議案等のペーパーレス化」、「質問の問一答方式の導入」、「関係機関・団体等の意見交換会」の実施等をさらに進めなければならぬと感じています。

議会に対し、ご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

（小川政憲）

議会改革の一環として9年ぶりに再開したこの「議会だより」も、早いもので第11号を数えるまでになりました。できるだけ市民の方にも伝わりやすいよう言葉を選び、毎号広報広聴委員により、何度も校正をかけながら発行してまいりましたが、今号が一応の区切りとなります。

次号からはまた新たなメンバーでのスタートとなりますが、さらに充実した内容で、議会がより身近に感じられるものに進化させてもらいたいと思います。また、今回を機に勇退される方には本当にお疲れ様でしたと申し上げるとともに、これまでのご尽力に心から敬意を表します。

12名中6名が1期目の新人という現在までの議会構成でしたが、今号が発行される頃には、既に新しい体制が整っていることと思います。どのような形でも市民の方によりわかりやすく、真の意味での「開かれた議会」を目指して議会改革が進められることを強く望むところであります。最後までお読みいただきありがとうございます。（大橋）

議会の動き

2月上旬～4月下旬

【2月】

- 6日 第1回市議会（臨時会）
- 14日 総務常任委員会、議会運営委員会
- 22日 鉄道フォーラムin南富良野、根室本線対策協議会（南富良野町）
- 26日 中空知衛生施設組合議会（滝川市）
- 27日 中空知広域市町村圏組合議会（滝川市）
石狩川流域下水道組合議会（滝川市）
道道美唄富良野線貫通式（美唄市）
- 28日 滝川地区広域消防事務組合議会（滝川市）
正副議長・正副議会運営委員長会議
議員会派代表者会議、議会運営委員会

【3月】

- 1日 空知教育センター組合議会（滝川市）
- 7日～25日 第2回市議会（定例会）、
株芦別振興公社経営問題調査特別委員会、
議会改革特別委員会
- 11日 議員会派代表者会議
- 13日 総務常任委員会
- 14日 社会産業常任委員会
- 15日～22日 予算審査特別委員会
- 19日 議員会派代表者会議、議会運営委員会
- 25日 議会運営委員会、広報広聴委員会

【4月】

- 5日 総務常任委員会、議員会派代表者会議
議会運営委員会、広報広聴委員会
- 11日 広報広聴委員会

6月定例会市議会のお知らせ

○会期 6月14日（金）～24日（月）

○日程

- 14日（金）本会議（議案の提案）
- 18日（火）本会議（一般質問）
- 19日（水）本会議（一般質問）
- 20日（木）・21日（金）常任委員会
- 24日（月）本会議（議案の議決）

○開会時間 いずれも午前10時から

※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります

芦別市議会広報広聴委員会

委員長 小川政憲

副委員長 石川洋一

委員 池田勝利、大橋一朗、北村真、

松井邦男、吉田博子